

# 2007年3月期中間期 決算説明会

2006年11月6日  
京セラ株式会社

## 本日のプレゼンテーション

1

**2007年3月期中間期決算概要**

2

**2007年3月期通期業績予想**

## 将来予想に関する注意事項

この配布資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。(1)当社が関連する市場の状況(特に、日本、米国、欧州及び中国を含むアジアの経済状況)。(2)当社の売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)と円との為替レート。(3)競争の厳しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場における当社の、革新的な製品を提供し、顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力。(4)通信やパーソナルコンピュータを含む世界の情報技術市場の将来における成長又は縮小の規模及び速度。(5)保有する有価証券その他の資産の時価の変動及び会計基準の変更。(6)当社が提携する他企業の事業の動向。(7)日本及び諸外国における税制並びに生産体制及び貿易に関する法規制等。(8)テロ行為、疾病の発生、その他当社の市場やサプライチェーンに混乱を与える可能性のある要素。(9)当社の製造施設その他主要な事業関連施設がある地域における地震などの自然災害の発生。かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示又は包含される将来の業績、事業活動、展開又は財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この配布資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

# 2007年3月期中間期 連結決算概要(1)

(単位:百万円)

	2006年3月期 中間期		2007年3月期 中間期		前年同期比 増減率(%)
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	
売上高	542,238	—	615,390	—	13.5
営業利益	33,764	6.2	63,128	10.3	87.0
税引前中間純利益	44,329	8.2	72,385	11.8	63.3
中間純利益	24,214	4.5	53,493	8.7	120.9
希薄化後1株当たり中間純利益(円)	129.15	—	284.14	—	—
設備投資額	50,637	9.3	37,239	6.1	-26.5
減価償却費	28,034	5.2	33,682	5.5	20.1
研究開発費	29,328	5.4	30,257	4.9	3.2

	2006年3月期中間期	2007年3月期中間期	FY07/3中間期 為替の変動による影響額(対FY06/3中間期)	
米ドル平均為替レート(円)	109	115	売上高	税引前中間純利益
ユーロ平均為替レート(円)	136	146	218億円	82億円

## 2007年3月期中間期 連結決算概要（2）

（単位：百万円）

		2006年3月期 中間期	2007年3月期 中間期	増減率
部品事業	売上高	277,937	318,523	14.6%
	事業利益	32,564	49,799	52.9%
	事業利益率	11.7%	15.6%	—
機器事業	売上高	217,773	247,690	13.7%
	事業利益	-160	13,576	黒字化
	事業利益率	—	5.5%	—

## 当中間期実績の特記事項

(単位:億円)

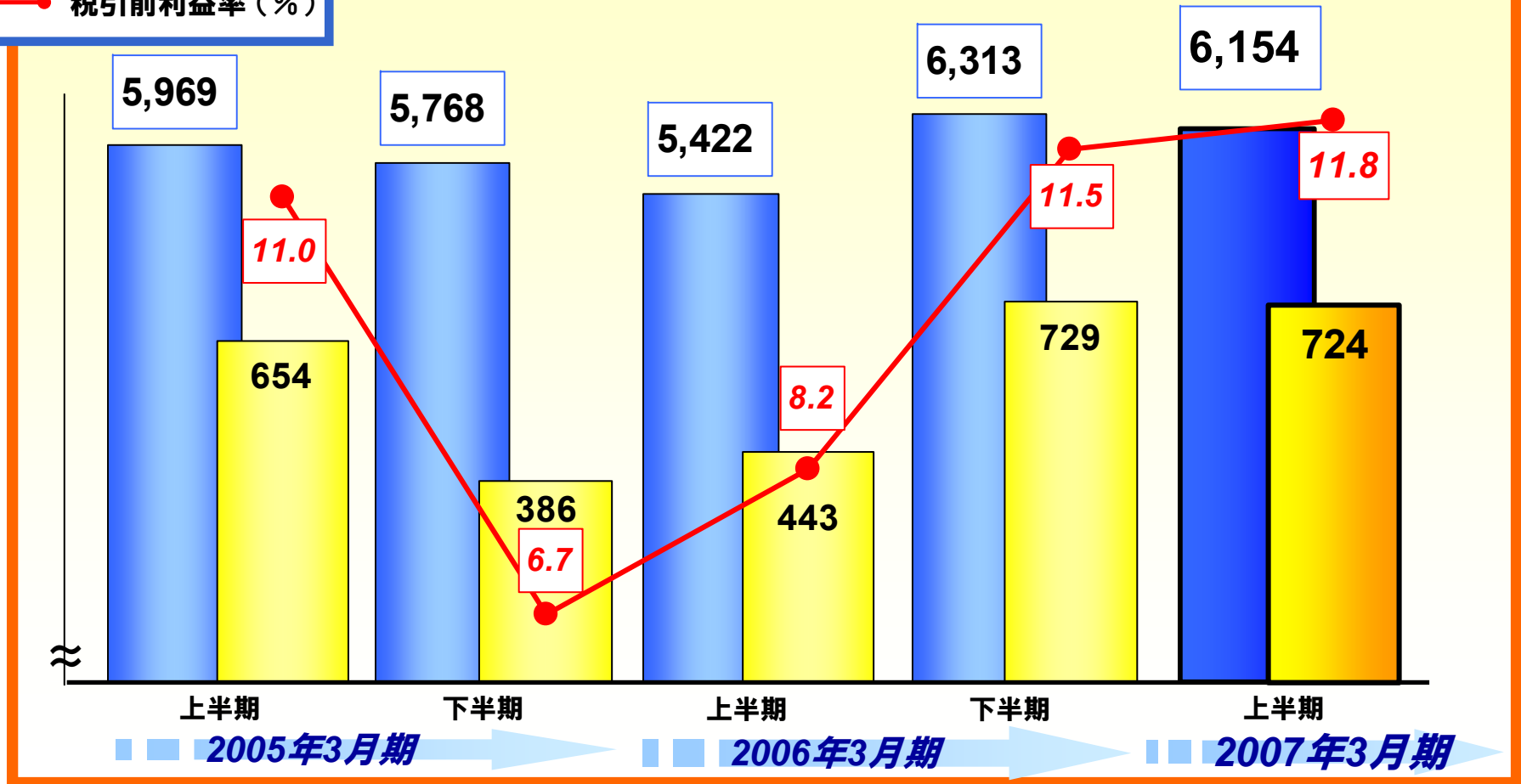
項目	税引前中間純利益	中間純利益
京セラリーシング(株)株式売却益等	—	+52
移転価格課税に関する還付税額	—	+43
製品保証引当金の一括計上 (ソーラーエネルギー事業)	-39	-23

# 半期別連結売上高・税引前利益の推移

－2005年3月期～2007年3月期中間期－

(単位:億円)

- 売上高
- 税引前利益
- 税引前利益率(%)



## 本日のプレゼンテーション

1

2007年3月期中間期決算概要

---

2

2007年3月期通期業績予想

---

# 2007年3月期 連結業績予想

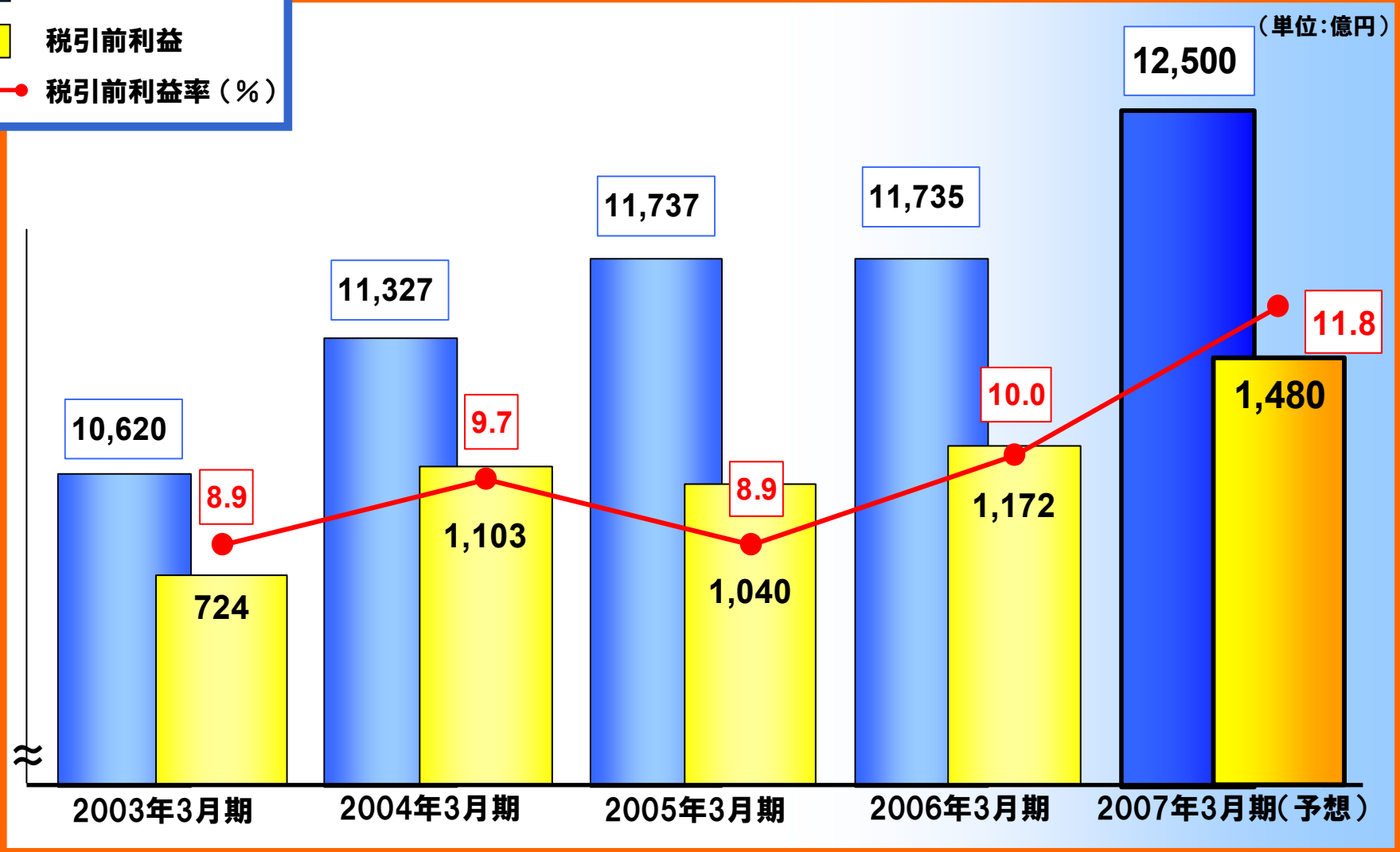
(単位:百万円)

	2006年3月期 実績		2007年3月期				前期比 増減率(%)
	金額	売上高比(%)	前回予想 (2006年4月)		今回予想 (2006年10月)		
			金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	
<b>売上高</b>	1,173,544	—	1,230,000	—	<b>1,250,000</b>	—	<b>6.5</b>
<b>営業利益</b>	99,695	8.5	123,000	10.0	<b>133,000</b>	<b>10.6</b>	<b>33.4</b>
<b>税引前当期純利益</b>	117,237	10.0	138,000	11.2	<b>148,000</b>	<b>11.8</b>	<b>26.2</b>
<b>当期純利益</b>	69,696	5.9	83,000	6.7	<b>96,000</b>	<b>7.7</b>	<b>37.7</b>
<b>希薄化後1株当たり 当期純利益(円)</b>	371.43	—	440.83	—	<b>509.92</b>	—	—
<b>設備投資額</b>	88,860	7.6	72,000	5.9	<b>72,000</b>	<b>5.8</b>	<b>-19.0</b>
<b>減価償却費</b>	62,942	5.4	71,000	5.8	<b>70,000</b>	<b>5.6</b>	<b>11.2</b>
<b>研究開発費</b>	57,436	4.9	63,000	5.1	<b>63,000</b>	<b>5.0</b>	<b>9.7</b>
	2006年3月期 実績	前回予想	今回予想	FY07/3期 為替の変動による影響額 (対FY06/3期)			
<b>米ドル平均為替レート(円)</b>	113	109	<b>114</b>	売上高		税引前当期純利益	
<b>ユーロ平均為替レート(円)</b>	138	140	<b>145</b>	<b>151億円</b>		<b>78億円</b>	

# 連結売上高・税引前利益の推移

－2003年3月期～2007年3月期(予想)－

- 売上高
- 税引前利益
- 税引前利益率(%)



# 事業環境見通し

(当社予想)

## 世界の主要電子機器の生産台数見通し

	CY2005 (百万台)	CY2006見通し (CY05比増減率)	CY2007予想 (CY06比増減率)
携帯電話端末	800	+20%	+5%
PC	220	+5~10%	+10%
デジタルTV	30	+80%	+50%

## 2007年3月期 部品単価の動向

年間で前期末比10%前後の下落にとどまる

# 主要事業セグメントの見通しと課題（1）

## －半導体部品関連事業－

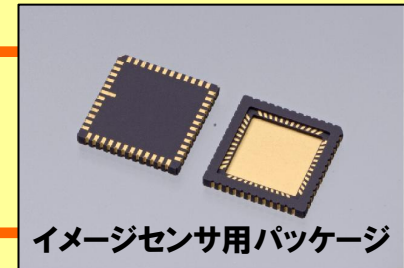
2007年3月期

上半期

下半期

セラミック  
パッケージ

電子部品用表面実装パッケージ、イメージセンサ用パッケージ、光通信用パッケージの売上拡大



中国工場の稼働率上昇及びコスト削減効果による採算改善

有機  
パッケージ

デジタルカメラ、携帯電話用SiP基板の売上拡大



ゲーム機用パッケージの売上が計画を下回る

自動化大量生産技術の  
確立

# 主要事業セグメントの見通しと課題（1）

## －有機パッケージ事業の課題－

### ゲーム機用有機パッケージ事業の採算改善



#### 自動化大量生産ラインの確立

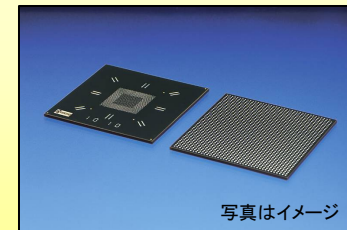
- 工程の改善
- 管理体制の一層の強化



京都・綾部工場

#### 売上拡大

客先認定数増加による生産数量増

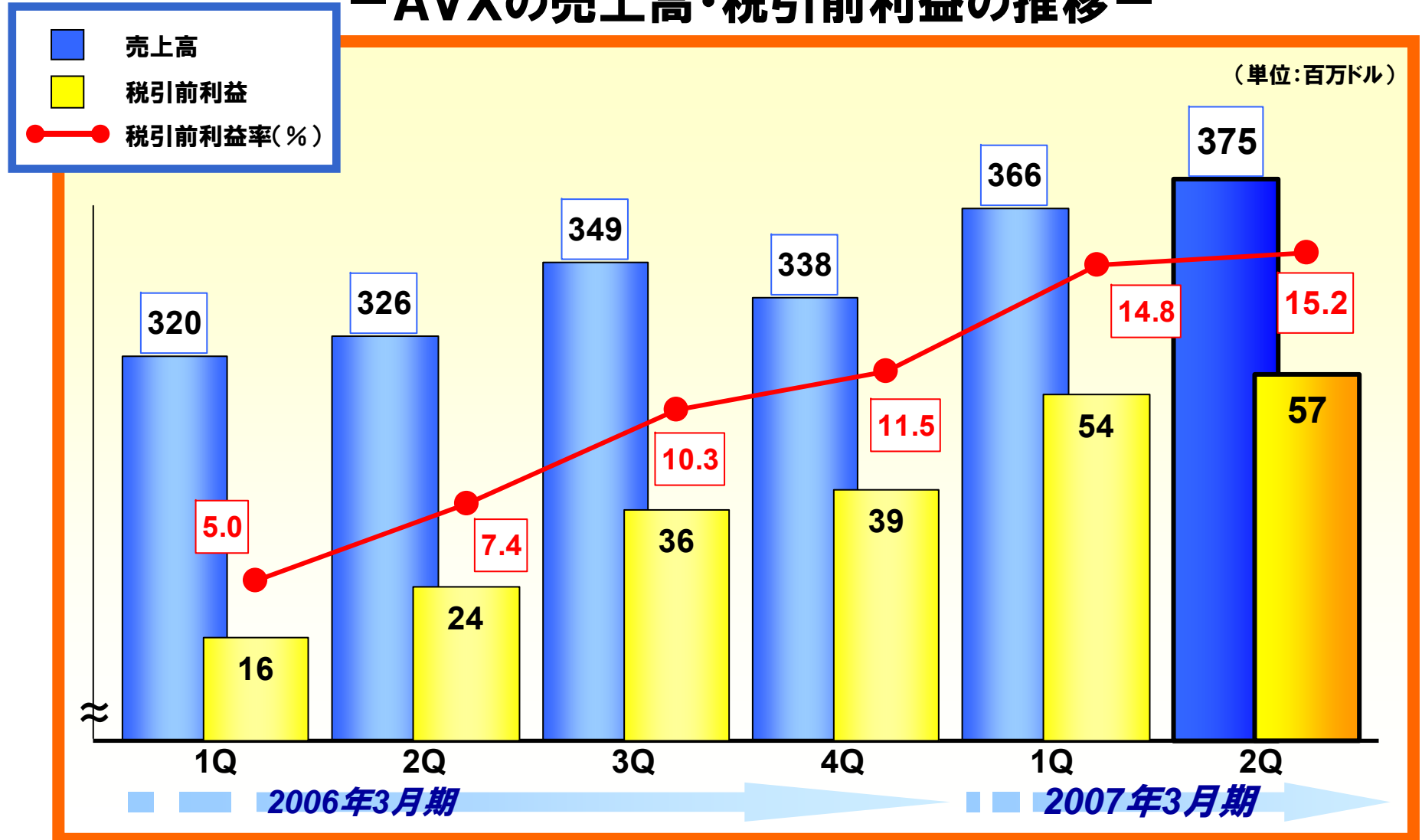


写真はイメージ

フリップチップパッケージ

# 主要事業セグメントの見通しと課題（2）

## －AVXの売上高・税引前利益の推移－



# 主要事業セグメントの見通しと課題（2）

## －電子デバイス関連事業－

2007年3月期

上半期

下半期

**コンデンサ**  
(セラミック/タンタル)



アジア地域の受注好調、生産能力拡大

高付加価値製品の売上拡大

海外工場(中国、チェコ)における  
生産性向上

中国工場の生産品目拡大

**水晶デバイス  
製品**



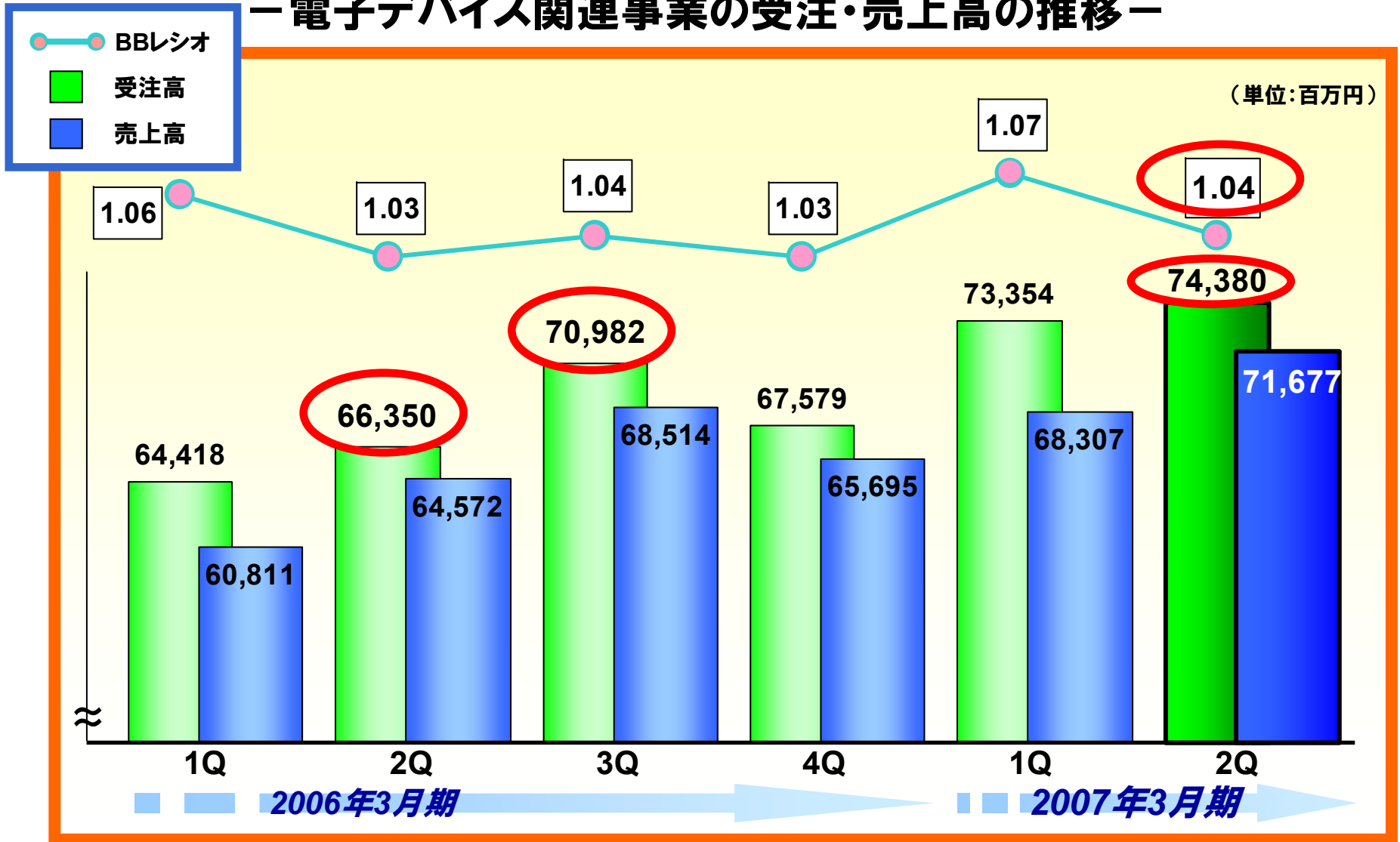
水晶振動子、TCXOの売上拡大

2520サイズ水晶振動子及び  
TCXOの拡販

国内工場における生産性向上

# 主要事業セグメントの見通しと課題（2）

－電子デバイス関連事業の受注・売上高の推移－



# 主要事業セグメントの見通しと課題（3）

## －国内 通信機器関連事業－

2007年3月期

上半期

下半期

携帯電話端末

新モデル(W42K、A5521K)の  
売上増加

W42K



A5521K

新モデル(W43K、W44K)の  
市場投入と拡販



W43K



W44K

PHS関連製品

(株)ウィルコム  
の加入者増、  
WX300Kの売上増加

新製品の市場投入による  
売上拡大

# 主要事業セグメントの見通しと課題 (3)

— 2007年3月期 国内携帯電話端末 新製品 —

上半期

下半期

WIN

W42K



発売 2006年6月～

テレビと音楽を楽しめる

アナログテレビ機能

WIN

W43K



発売 2006年10月～

音楽機能をさらに充実

Felica搭載

2.6インチQVGA液晶

CDMA 1x

A5521K



発売 2006年6月～

薄型18mm

2.4インチASV液晶

WIN

W44K



発売 2006年11月予定

WIN最薄モデル、15mm\*

2メガピクセルカメラ搭載

2.4インチQVGA液晶

\*2006年11月1日現在

# 主要事業セグメントの見通しと課題（3）

## －下半期の新製品投入 W43K－

### 音楽機能をさらに充実

充電台にのせれば重低音サウンドを再生、特に室内でオーディオとして利用



屋外でポータブルミュージックプレイヤーとして利用



# 主要事業セグメントの見通しと課題（3）

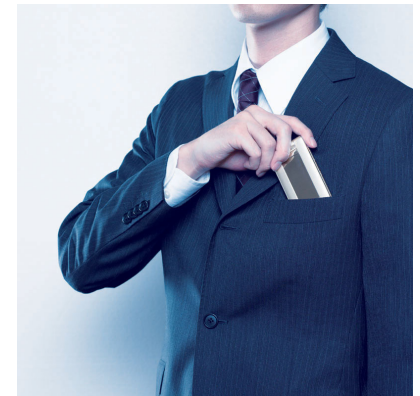
## －下半期の新製品投入 W44K－



WIN端末で最薄の15mm※

2メガオートフォーカスカメラ搭載

音楽を楽しめるLISMO対応



※2006年11月1日現在

# 主要事業セグメントの見通しと課題（3）

## －海外 通信機器関連事業－

2007年3月期

上半期

下半期

KWC

1Q赤字継続

2Q黒字達成

普及モデルの新製品投入による売上拡大

Strobe



K320



K130



K120



PHS  
関連製品

中国パケットサービスの遅延

商用サービス開始、パケット  
対応基地局・端末の販売

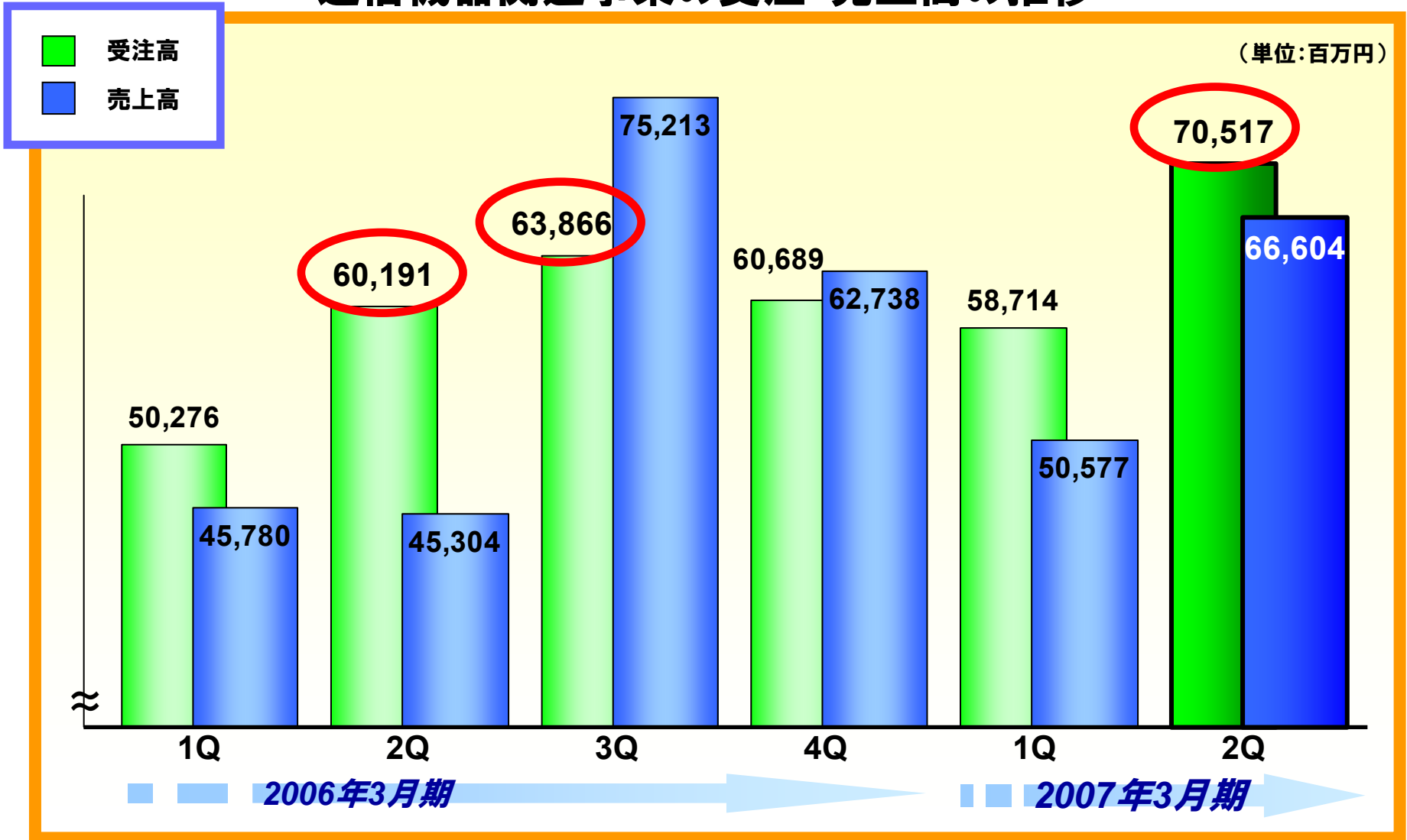
iBurst™

市場開拓(ロシア、インド、アメリカなど)

iBurst™は、ArrayComm, Inc.の登録商標です。

# 主要事業セグメントの見通しと課題 (3)

## — 通信機器関連事業の受注・売上高の推移 —



# 2007年3月期 事業セグメント別連結売上高予想

(単位:百万円)

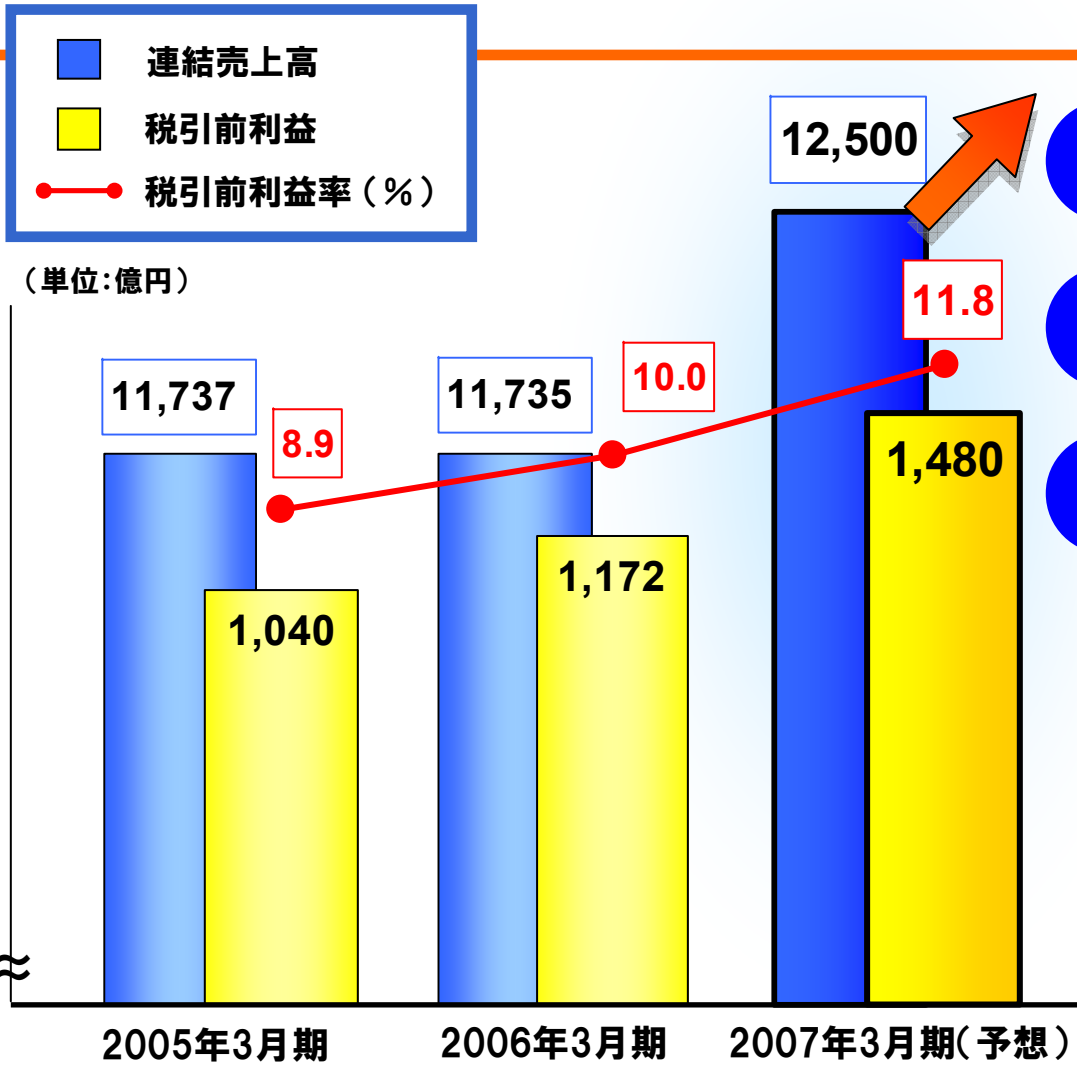
■ 事業セグメント	2006年3月期		2007年3月期				前期比 増減率(%)
			前回予想 (2006年4月)		今回予想 (2006年10月)		
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
■ ファインセラミック部品関連事業	69,373	5.9	71,000	5.8	<b>78,000</b>	<b>6.2</b>	<b>12.4</b>
■ 半導体部品関連事業	135,299	11.6	145,000	11.8	<b>150,000</b>	<b>12.0</b>	<b>10.9</b>
■ ファインセラミック応用品関連事業	117,555	10.0	122,000	9.9	<b>129,000</b>	<b>10.3</b>	<b>9.7</b>
■ 電子デバイス関連事業	259,592	22.1	263,000	21.4	<b>276,000</b>	<b>22.1</b>	<b>6.3</b>
部品事業 計	581,819	49.6	601,000	48.9	<b>633,000</b>	<b>50.6</b>	<b>8.8</b>
■ 通信機器関連事業	229,035	19.5	245,000	19.9	<b>245,000</b>	<b>19.6</b>	<b>7.0</b>
■ 情報機器関連事業	249,381	21.2	260,000	21.1	<b>260,000</b>	<b>20.8</b>	<b>4.3</b>
■ 光学機器関連事業	14,947	1.3	11,000	0.9	<b>11,000</b>	<b>0.9</b>	<b>-26.4</b>
機器事業 計	493,363	42.0	516,000	41.9	<b>516,000</b>	<b>41.3</b>	<b>4.6</b>
■ その他の事業	117,409	10.0	133,000	10.8	<b>125,000</b>	<b>10.0</b>	<b>6.5</b>
調整及び消去	-19,047	-1.6	-20,000	-1.6	<b>-24,000</b>	<b>-1.9</b>	<b>—</b>
売上高	1,173,544	100.0	1,230,000	100.0	<b>1,250,000</b>	<b>100.0</b>	<b>6.5</b>

# 2007年3月期 事業セグメント別連結事業利益予想

(単位:百万円)

■ 事業セグメント	2006年3月期		2007年3月期				前期比 増減率(%)
			前回予想 (2006年4月)		今回予想 (2006年10月)		
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	
■ ファインセラミック部品関連事業	11,014	15.9	11,500	16.2	<b>14,500</b>	<b>18.6</b>	<b>31.7</b>
■ 半導体部品関連事業	17,742	13.1	21,000	14.5	<b>23,500</b>	<b>15.7</b>	<b>32.5</b>
■ ファインセラミック応用品関連事業	21,876	18.6	21,500	17.6	<b>20,000</b>	<b>15.5</b>	<b>-8.6</b>
■ 電子デバイス関連事業	27,170	10.5	28,500	10.8	<b>42,000</b>	<b>15.2</b>	<b>54.6</b>
<b>部品事業 計</b>	<b>77,802</b>	<b>13.4</b>	<b>82,500</b>	<b>13.7</b>	<b>100,000</b>	<b>15.8</b>	<b>28.5</b>
■ 通信機器関連事業	-1,706	—	9,000	3.7	<b>4,000</b>	<b>1.6</b>	<b>—</b>
■ 情報機器関連事業	26,412	10.6	28,500	11.0	<b>30,000</b>	<b>11.5</b>	<b>13.6</b>
■ 光学機器関連事業	-5,774	—	0	—	<b>-1,000</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
<b>機器事業 計</b>	<b>18,932</b>	<b>3.8</b>	<b>37,500</b>	<b>7.3</b>	<b>33,000</b>	<b>6.4</b>	<b>74.3</b>
■ その他の事業	8,983	7.7	14,000	10.5	<b>9,000</b>	<b>7.2</b>	<b>0.2</b>
<b>事業利益 計</b>	<b>105,717</b>	<b>9.0</b>	<b>134,000</b>	<b>10.9</b>	<b>142,000</b>	<b>11.4</b>	<b>34.3</b>
本社部門損益等	11,520	—	4,000	—	<b>6,000</b>	<b>—</b>	<b>-47.9</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>117,237</b>	<b>10.0</b>	<b>138,000</b>	<b>11.2</b>	<b>148,000</b>	<b>11.8</b>	<b>26.2</b>

# 「さらに成長し続ける創造型企業」を目指す



- 1. 高収益体質の構築
- 2. お客様第一主義を貫く
- 3. さらなるグローバル経営の推進



## 子会社の売却に伴う財務諸表の組み替えについて

2007年3月期中間期に、ファイナンス事業を行う当社子会社であった京セラリーシング（株）を売却したことにより、京セラリーシング（株）に係る営業成績及び売却益の合計を、米国会計基準に従い、非継続事業中間純利益として表示しています。この売却に伴い、既公表実績値についても同様の基準で組み替えて表示しています。

THE NEW VALUE FRONTIER



京セラ株式会社